

# 公立大学法人奈良県立医科大学 第2期中期目標（案）

## 前文

奈良県立医科大学は、奈良県が設立する地域のための大学として、公立大学ならではの教育、研究、診療機能を最大限に発揮することを目標とする。

そのため、第2期においては、「地域貢献」「教育」「研究」「診療」「まちづくり」「法人運営」の6つの柱で構成し、特に「地域貢献」「まちづくり」を新たな柱として位置づける。

地域貢献として、地域に医師を適切に確保する体制の確立、地域で活躍する看護師、助産師等の充足、大学と附属病院を中心とした医療、福祉、健康づくりの連携や、学生や研究者が交流できる充実した環境の整備に向けて重点的に取組を進める。

教育では、幅広い教養、知識や奈良に愛着をもって、地域に貢献できる医師、看護師、助産師を育成するとともに、研究では、地域の産業の研究開発とも相乗効果を見込めるような、独自性のある医学研究を推進する。

また、附属病院においては、中央手術棟を本格稼働させ、高度医療提供体制を充実するとともに、患者満足の上昇に努める。

## 中期目標の期間

平成25年4月1日から平成31年3月31日まで

### I 適切な運営に関する目標

- (1) 大学の理念に鑑み、ミッションを再構築するとともに、全教職員への共有化を図る。
- (2) 理事長の強いリーダーシップのもと、ガバナンス体制を再構築する。
- (3) 教育・研究目標の達成に向けた教育・研究環境を構築するとともに、適切な職場環境の維持、教職員のモチベーションと技能の向上を図る。
- (4) 教職員のコスト意識を醸成し、効果的、効率的かつ安定的な運営を行う。
- (5) 収入の確保に努め、人件費率等の経費率を合理的な水準にするとともに、保有資産の有効活用を推進する。
- (6) 質的向上を図るため、適切な効果測定のもとに自己点検及び外部評価を実施し、その結果を活用する。
- (7) 戦略的な広報、県民に対する説明責任を果たすため情報公開を推進する。

### II 地域貢献に関する目標

#### 1 地域医療の充実に関する目標

- (1) 高い志と高度な知識・技能を身につけた、専門医や総合医となる人材や、地域医療を担い支える人材を育成する。
- (2) 最適な地域医療提供体制の確立支援を行うとともに、地域の医療レベル並び

に、地域の看護システム・教育力の向上に貢献する。

## 2 地域への研究成果の還元に関する目標

- (1) 県民に健康と安心をもたらす研究、開発を推進し、地域に還元する。

## Ⅲ 教育の質の向上に関する目標

- (1) 一般教育課程の充実を通じて幅広い教養を身に付けた人材を育成する。
- (2) 基礎医学、社会医学の高度な知識と教育・研究能力を持つ人材を育成する。
- (3) 経営や管理の視点、マネジメント能力を持った人材を育成する。
- (4) 教育の実施体制の充実を図るとともに、教員の教育活動の評価を適切に行う。
- (5) 研修医の育成、看護師教育の充実を通じて、医師・看護師のキャリアアップを支援する。
- (6) 学生がより意欲的な生活が送れるよう、学生支援を充実する。

## Ⅳ 研究の質の向上に関する目標

- (1) 公立大学の強みを活かした独自性のある研究、また、国際水準の研究を推進する。
- (2) 研究を推進するため、研究者の意欲の醸成を促進する。
- (3) 産学官連携を進め、企業や研究機関との共同研究や企業からの受託研究等を積極的に推進する。

## Ⅴ 診療の質の向上に関する目標

### 1 診療機能に関する目標

- (1) 特定機能病院としての役割を踏まえ、高度先進的、総合的で良質な医療の開発と提供を行う。
- (2) 県内における周産期医療の中心的な役割を担う。
- (3) 県内の救急医療体制の中心的な役割を担う。

### 2 患者満足に関する目標

- (1) 常に患者の目線で気持ちを汲むことができるよう、教職員のホスピタリティマインドの醸成を図り、信頼される医療の提供を行う。
- (2) 療養環境の向上に努め、患者が満足するアメニティの充実を図る。

## Ⅵ まちづくりに関する目標

- (1) 中南和地域の拠点病院としての役割を積極的に果たし、地域の中で、医療・福祉・健康づくりが一体となった魅力あるまちづくりに参画する。
- (2) 中長期的な展望のもとに施設設備の整備計画を策定し、老朽施設の計画的な改築・改修等の整備に向けた取り組みを進める。

## 附則

中期目標は、その達成状況や取り巻く状況等の変化を踏まえ、必要があるときは、見直しを行う。

そのため、ベンチマーク比較を行うなど、積極的な効果測定に努める。